



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

博士課程教育リーディングプログラム  
複合領域型 一横断的テーマー 採択年度：平成 25 年



## 「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを 創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成

Fostering long-term creativity and innovation with science and technology disciplines based on Ochanomizu spirit "Migakazuba" in the next generation of global leaders, Ochanomizu University  
物理・数学・情報の基盤力強化とチームスタディに基づき理工学分野のソフトリーダーを育成

### 3月3日（月）キックオフシンポジウム開催について

## キックオフシンポジウム 趣意書

本学提案の「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成が平成 25 年度文部科学省博士課程教育リーディングプログラム〈複合領域型（横断的テーマ）〉に採択されました。

日本の持続的発展のためにはイノベーションの創出は常に必要です。一方、少子高齢化社会においては、潜在的労働力である女性の活用は必須の要件となります。このような状況のもとに、本プログラムでは特に女性人材が不足している理工系分野において、物理・数学・情報等を基盤的素養としてもち、それによって社会のニーズがどのように変化しても柔軟に対応でき、しかも社会が必要とするイノベーションを創出し続けることのできる理工系女性博士人材を、企業等と密接に連携をとりながら養成します。

さらに、これらの人材がグローバル社会で活躍できるよう、グローバル人材に求められる 3 要素（①語学力・コミュニケーション能力、②主体性・積極性や協調性・柔軟性等、③多様な文化に対する理解）に加えて、情報発信や情報収集に不可欠な IT 技術を兼ね備えた人材を養成します。

本プログラムは 5 年一貫の大学院副専攻プログラムとして実施します。参加学生は主専攻において各自の専門性を極めながら、本副専攻においてグローバルリーダーとしての素養を身につけます。本プログラムではその特徴である「Project Based Team Study (PBTS)」により、俯瞰力とコミュニケーション力に優れ、国際感覚をもって課題を発見し解決できる人材の育成を目指します。「PBTS」は、異質な分野の異質な性質の院生がチーム（cross functional team）を作り、「みがかずば」の精神に基づき互いに切磋琢磨しつつ、自ら企画した課題についてチーム力を高めて成果に導くチーム研究です。

本学がこれまでに行ってきた女性リーダー育成に関する実績にもとづき、このプログラムによって、多様な世界を柔軟にまとめて社会の即戦力となる近未来のソフトリーダー候補を育成します。

本プログラムを開始するにあたり、産・学・官有識者による基調講演、本学と他大学の取組み紹介、本プログラムに採用された院生による「PBTS」課題の提案を通して、本プログラムの趣旨を確認し、これを広く社会に周知する目的のもとにキックオフシンポジウムを開催します。

プログラム責任者：河村 哲也（理事・副学長）

プログラムコーディネーター：古川 はづき

副コーディネーター：菅本 晶夫

## プログラム案内

博士課程教育リーディングプログラム  
「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを  
創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成

### プログラム責任者



河村 哲也  
理事・副学長(国際・研究機構長)  
プログラム責任者

#### 社会からの要請に応えるプログラム

本プログラムの構想段階で、有力企業等で活躍中の20人以上の方々の生の声を聞きました。すべての方が、イノベーション創出に必要な力として「物理、数学、情報の基盤力」「柔軟性」を強調され、更に指導的立場にある女性人材の不足、理工系女性人材養成の重要性と緊急性を訴えられ、また、異口同音に「お茶大頑張れ」というエールをいただきました。このプログラムの実施によりイノベーションを創出し続ける女性人材を輩出し続けたいと思います。

### プログラムコーディネーター



古川 はづき  
大学院人間文化創成科学研究科  
理学専攻 教授  
プログラムコーディネーター

#### 日本の男女共同参画を加速する グローバルリーダーを増やします

本プログラムは、従来博士前期課程修了の段階で企業への就職を希望した学生をメインターゲットに、研究開発・専門力だけでなく、人間力・俯瞰力・チーム統括力も強化し、企業で即戦力となる博士人材を育成することが目的です。本学のプログラムの特徴は、企業の様々なロールモデルとのネットワークにより、男女共生社会の形成を先導する未来の女性グローバルリーダー候補を育成することをお約束します。

## 博士課程教育リーディングプログラム

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

(独立行政法人日本学術振興会 HP<http://www.jsps.go.jp/j-hakasekatei/> より)

## 女子大学のノウハウを活用した理工系女性人材の育成

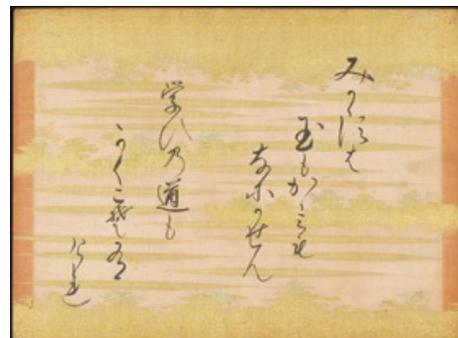
### みがかずばの精神に基づき イノベーションを創出し続ける 理工系グローバルリーダーの育成

### みがかずばの精神：原石を磨き、社会を変革する

お茶の水女子大学は、これまで校歌に謳われた「みがかずば」精神に基づき、女性リーダーの育成を行ってきました。特に、理系分野には、多くの優れた研究者や高度職業人を育成し、産・学・官に輩出してきた伝統と実績があります。

この「みがかずば」の精神は、原石（自己）を磨くことにより、自己と他者、ひいては世界に変革をもたらすものであり、まさにイノベーション創出の精神にほかなりません。

本プログラムでは、女性人材が不足している理工系分野（物理、情報など）において、物理・数学・情報を基盤的な素養としてもち、社会の様態やニーズの変化に即応でき、必要なイノベーションを創出し続けることのできる高い柔軟性をもった、グローバルに活躍できる女性人材を、お茶大をハブにして、産・学・官が協働して養成します。



## プログラムの特徴

1. 企業で即戦力として活躍する人材育成
2. 厳正な成績評価と学習支援システム
3. お茶大をハブとする産・学・官との強力な連携



■プログラム担当者（お茶の水女子大学常勤教員）

氏名	所属（研究科・専攻等）・職名
河村 哲也	理事、副学長（国際・研究機構長） ※プログラム責任者
古川 はづき	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授 ※プログラムコーディネーター
鷹野 景子	副学長、学術・情報機構長（附属図書館長）
菅本 晶夫	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授（理学部長）
小林 功佳	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授（理学専攻長）
太田 裕治	大学院人間文化創成科学研究科・ライフサイエンス専攻・教授 （ライフサイエンス専攻長）
香西 みどり	大学院人間文化創成科学研究科・ライフサイエンス専攻・教授 （自然・応用科学系長）
伊藤 貴之	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授 （シミュレーション科学教育研究センター長）
千葉 和義	大学院人間文化創成科学研究科・ライフサイエンス専攻・教授 （サイエンス&エデュケーションセンター長）
由良 敬	大学院人間文化創成科学研究科・ライフサイエンス専攻・教授 （生命情報学教育研究センター長）
半田 智久	教育開発センター・教授 知能環境論
小口 正人	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
近藤 敏啓	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
椎尾 一郎	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
曹 基哲	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
塚田 和美	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
出口 哲生	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
山田 眞二	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
吉田 裕亮	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・教授
松浦 悦子	大学院人間文化創成科学研究科・ライフサイエンス専攻・教授
北島 佐知子	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・准教授
工藤 和恵	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・准教授
郡 宏	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・准教授
棚谷 綾	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・准教授
萩田 真理子	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・准教授
森 寛敏	大学院人間文化創成科学研究科・理学専攻・准教授
河野 能知	お茶大アカデミック・プロダクション・助教

## ■プログラム担当者（学外）

氏名	所属・職名
高畑 尚之	総合研究大学院大学・学長
安東 正樹	東京大学・大学院理学系研究科、国立天文台・重力波プロジェクト推進室・准教授
田村 義保	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所・教授
佐藤 一郎	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所・アーキテクチャ科学研究系・教授
根本 香絵	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所・情報学プリンシプル研究系・教授
岡田 安弘	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構・理事
徳宿 克夫	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所・教授
池尾 一穂	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所・准教授
瀧宮 和男	独立行政法人理化学研究所 創発物性科学研究センター グループディレクター
多々良 源	独立行政法人理化学研究所 創発物性科学研究センター スピン物性理論研究チーム チームリーダー
花栗 哲郎	独立行政法人理化学研究所 創発物性計測研究チーム チームリーダー
杉田 有治	独立行政法人理化学研究所 主任研究員
吉武 道子	独立行政法人物質・材料研究機構MANA-ナノマテリアル分野 ナノエレクトロニクス材料ユニット 半導体デバイス材料グループ MANA研究者
永崎 洋	独立行政法人産業技術総合研究所 電子光技術研究部門 超伝導エレクトロニクスグループ 研究グループ長
Dmitri Fedorov	独立行政法人産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 主任研究員
河野 秀俊	独立行政法人日本原子力研究開発機構 分子シミュレーション研究グループ グループリーダー
久保田 伸彦	株式会社IHI 総合開発センター化学システム開発部 部長
野崎 華恵	株式会社東芝 研究開発センター主任研究員
菅谷 綾子	株式会社ニコン 経営企画本部系企画部
青山 美奈	株式会社ブリヂストン タイヤ品質保証本部材料・調達品品質保証部 主任部員
小嶋 美代子	株式会社日立ソリューションズ ダイバーシティ推進センタ部長代理
内永 ゆか子	NPO法人J-Win 理事長
萩原 貴子	ソニー株式会社 グローバル人材開発部門 ダイバーシティ開発部統括部長
小西 雅子	WWFジャパン 自然保護室室次長 兼 気候変動・エネルギープロジェクトリーダー
宮井 真千子	パナソニック株式会社 役員 R&D本部 未来生活研究担当
小林 洋子	NTTコム チェオ株式会社 代表取締役社長
Steven Hayward	University of East Anglia, Senior Lecturer
David Quééré	ESPCI & Ecole polytechnique, Professor
Nicolas ELLIS	CERN・Leader of ATLAS Trigger and Data Acquisition Group
David Alan Tennant	Helmholtz Center Berlin, Professor
Luis López-Remón	Lanxess GmbH・Senior Vice President
Shixia Liu	Microsoft Research Asia, Lead Researcher
平野 未来	Spicy Cinnamon, Pre. Ltd. CEO

国立大学法人 お茶の水女子大学  
リーディング大学院推進センター  
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1  
E-mail : leading-ocha@cc.ocha.ac.jp  
T E L : 03-5978-5775  
W E B : <http://www.cf.ocha.ac.jp/leading/>



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

---

---